



1A200 GERY FOOT 使用取扱説明書



1. 概要

1A200-H GERY FOOTは義足用に設計されています。下記のユーザーにご使用できます。

- ・活動レベル：Lコード Kレベル 1 (歩行器や杖を使用される極低活動ユーザー)
- ・体重125kg以下：(足部サイズ22cm~25cm)
- ・体重150kg以下：(足部サイズ26cm~29cm)
- ・GERY FOOTの差高は0~20mm以内であれば問題なく使用可能です。



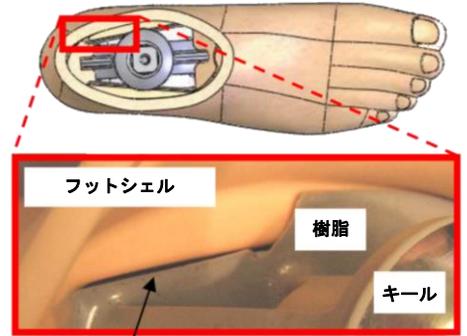
警告 両側切断者に関して、左右側でGERY FOOTを使用することは適切ではありません。又、GERY FOOTを上記体重を超える方に使用しないでください。

2. 特徴と機能

GERY FOOTは キールとフットシェルが一体構造として製作されています。本製品には足部とフォームカバーをつなぐための**コネクションプレート**も含まれています。

キールとフットシェルは接着ではなく、樹脂を充填することで固定されています。写真のように通常はフットシェルと充填された樹脂の間に隙間が見えます。(図1参照) フットシェルは独立気泡EVA樹脂で製作されており、紫外線と湿気に耐性があります。フットシェルと柔軟なキールの組み合わせは足部の滑らかな踏み返しを再現します。またソケットにかかるストレスを軽減し、ユーザーに快適感を与えます。

母趾の足底面の付け根にある穴はサンダルを履けるように、スプリットトゥとして改良することができます(図2参照)。改良の際には帯鋸を使用し、足部の母趾と第2趾の間に穴に向かって真っすぐカットしてください。必要に応じてカットを広げてください。



隙間が確認できます

図1 足部の構造

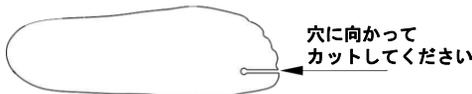


図2 スプリットトゥへの改良方法
(足底面視点)

3. ベンチアライメント(図3参照)

前額面：荷重線は膝関節レベルでのソケット中心と足部ピラミッドの中心を垂直に通るよう設定してください。

矢状面：荷重線は足部ピラミッドの5-15mm前方に落ちるように設定してください。

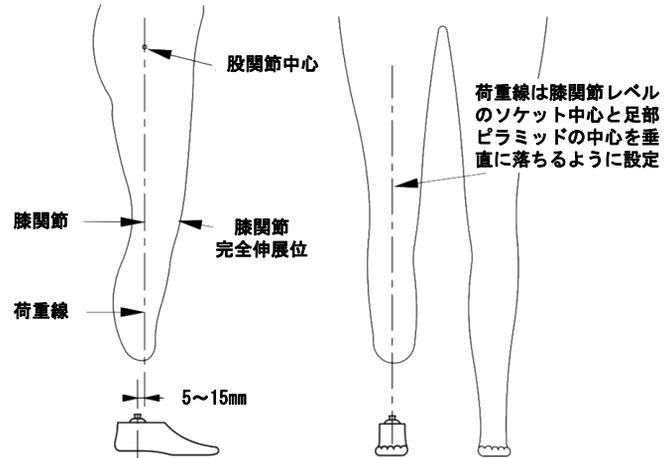


図3 ベンチアラメントの設定方法

4. ダイナミックアライメント

試歩行によってユーザーからのコメントや義肢装具士が気づいたこと等を基に、最適な歩行状態へと調整してください。

5. コネクションプレートの取り付け

フォームカバーを任意の長さでカットし、フォームカバーを足部の上に置いて足部上縁の輪郭をフォームカバーに描いてください。輪郭を記載した箇所より内側に、選択したコネクタが入るようなスペースを削ります。この時、コネクションプレートを十分に接着できるだけの厚みを確保しながら作業を行ってください。削り作業が完了したら、接着面の汚れやゴミを落としてコネクションプレートとフォームカバーをネオプレーン系接着剤(例 XC09)で接着してください。乾燥後は全体の形状を整えて、完成です。

6. メンテナンス

メンテナンスフリーですが、フットシェルについた汚れなどを拭く際には布やスポンジを少し湿らせてご使用ください。

7. リサイクル

可能であれば、フットシェルからキールをとりはずしてください。そしてキールのプラスチックパーツと金属パーツ(ピラミッドなど)を分けてください。フットシェルとキールのプラスチックパーツは特定廃棄物で、金属パーツはステンレスとアルミ合金からできています。それぞれのパーツは地方自治体の指示に従ってリサイクルしてください。





1A200 GERY FOOT 使用取扱説明書

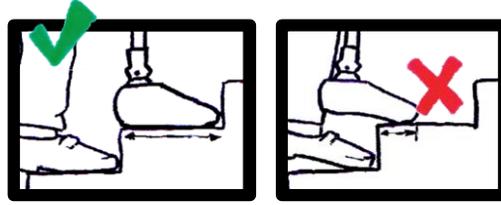


図1 階段昇降時の注意



ユーザー向け 安全のための注意事項

- ・ フットシェルについた汚れなどを拭く際には布やスポンジを少し湿らせてご使用ください。
- ・ 使用温度範囲：-10℃~40℃
- ・ 本足部が想定している目的以外でご使用（長時間の歩行、スポーツ、持続的な過負荷など）はしないでください。部品にダメージを与え、使用時の危険につながります。
- ・ 本足部が濡れてしまった場合、余分な水をタオル等で拭いて、空気乾燥させてください。
- ・ 足部使用中に普段とは異なる様子が見られたり、足部が破損した場合にはご担当の義肢装具士へご連絡ください。
- ・ 納品時にヒール高を調整した靴から異なるヒール高の靴に履き替える場合には義足アライメントが変わりますので注意してください。義足アライメントが変わると立位や歩行時の不安定性、不快感、ソケットにかかるストレスの変化などの原因となる可能性があります。
- ・ 階段昇降時にはつま先だけの接地ではなく、足部全体で接地するようにしてください(図1参照)。

